

平成 29 年第 2 回定例会一般質問通告事項

6 月 16 日 午 後	岡野長寿議員（日本共産党） 質問方式：一問一答方式
	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 非核平和都市宣言をしている自治体の長として、核兵器禁止条約締結のため、ヒバクシャ署名に積極的に取り組む意思があるか</p> <p>(2) 日本政府に国連会議に出席するよう促す取り組みをどう行うか</p> <p>(3) 「共謀罪」法案について慎重審議を求める発信を日本政府にすべきではないか</p> <p>2 国民健康保険制度の県単位化について</p> <p>(1) 県単位化で国民健康保険料は上がるのか、下がるのか</p> <p>(2) 県単位化で尾道市では国民健康保険料が今より上がらない姿勢で取り組むのか</p> <p>3 本庁舎建設について</p> <p>(1) 国土交通省の国土技術政策総合研究所が発表した災害拠点建築物の設計ガイドラインの内、災害対策の拠点としての機能を継続して発揮できるように選定する 拠点機能の継続のため、できるだけ周辺のライフラインや災害拠点建築物へのアクセス障害等が発生しない立地とするとの指針についてどううけとめるか、どう対処されるか</p> <p>(2) 液状化が起きて、新庁舎が防災拠点としての機能を発揮できない場合、どこがその役割をはたすか。旧尾道ではどこか。因島ではどこか。向島ではどこか。瀬戸田ではどこか</p> <p>(3) 市役所の本来の機能発揮という観点から、市民が集える場という項目は削って庁舎建設費用を絞り込み、膨らんだ建設費用を圧縮すべきではないか</p> <p>4 「村上海賊」を冠した観光行政について</p> <p>(1) 地蔵鼻への進入路部分の拡幅をすべきではないか</p> <p>(2) 女性用トイレの数を増やすべきではないか</p> <p>5 橋代負担軽減について</p> <p>(1) 市民としての橋の利用をした場合、平日の通行料金の軽減を実施すべきではないか</p> <p>(2) 島民割引の制度実施を国土交通省に求める考えはないか</p>